

令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
国語	<p>①学年に担当されている漢字を正しく読み書きし、文や文章の中で使うとともに、言葉の意味を正しく理解して語彙を豊かにする。</p> <p>②筋道を立てて考えたり、豊かに感じたりする力を養い、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができる。</p>	<p>本校における全国学力・学習状況調査 平均正答率 67%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年に担当されている漢字を正しく書くこと。また、時間の経過による変化を言葉から読み取ること。 ・正しく聞き取り、内容を目的や意図に応じて分類したり、関係付けたりすること。 ・内容の大体を読み取ったり、文章と図表を結び付けて必要な情報を読み取ったりすること。 ・事実と感想、意見などとの関係を、叙述を基に文章全体の要旨を把握すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字の学習の際には熟語や例文とセットで覚えるよう指導する。また、定期的に漢字小テストを実施し、定着率を確認する。 ・言葉集めや言葉の言い換えに取り組んだり、意味の分からない言葉は各自で調べたりする。 ・図表が文章のどの部分と関係しているのか、どのような根拠として使われているのか丁寧に読み取らせる。 ・国語で学んだ資料の読み取りの力を、社会科や理科などの教科でも活用できるよう指導する。 ・話を聞く際にメモを取ったり、内容やポイントなどを観点ごとにまとめたり他者に説明したりする活動を行う。
社会	<p>①提示された資料から、必要な情報を読み取る。</p> <p>②資料からわかることを言葉に表現する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や地図帳等の表やグラフ、資料から必要な情報を調べまとめること。 ・教科書や地図帳等の表やグラフ、資料を把握し、考えたことや選択・判断したことを表現すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の見方を丁寧に扱い、全体で確認する。 ・表やグラフ、資料に書いてあることを確認し、分かることをペアやグループで考えさせる。 ・資料の見方を全体で確認した後、自分が考えたことを短い言葉でも発言や記述で表現させることを繰り返す。

令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
算数	<p>①数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。</p> <p>②日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち、筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし、統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。</p> <p>③数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> 本校における全国学力・学習状況調査 平均正答率 62% </div> <p>・思考力・判断力・表現力を使うこと。特に、問題文を読み、問題についてのイメージをもち、立式すること。</p> <p>・授業やテストにおいて、早とちりや計算ミスなく計算すること。検算をしたり、解き直しをしたりしようとする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の導入の場面では、具体的な場面を想起したり、前時の学習内容を思い出したりできるようにする。 ・自力解決の場面では、児童の実態によっては、具体物を用意したり、これまでの学習内容を想起できるようにしたりする。また、複数の解法や考え方を考えられるようにする。 ・集団検討の際には、答えを求めることを主眼に置かず、友達の考えに注視できるようにする。考え方の共通点や相違点を話し合い、よりよい方法を考えられるようにする。 ・学習のまとめの場面では、児童が本時で何を学んだのか言ったり書いたりできるように習慣付ける。 ・練習問題を解く際、いつでも児童自身が既習事項を振り返れる環境をつくる。また、解き終わった後は、十分に見直しをすることを指導する。検算や見直しの仕方についても指導をする。

令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	<p>①自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>②観察、実験などを行い、問題解決の力を養う。</p> <p>③主体的に問題解決しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめもっている自然の事物・現象についてのイメージと、観察、実験などの結果から導き出した結論を意味付けたり関係付けたりすること。 ・観察、実験などの結果を整理し、その結果を基に結論を導き出すこと。 ・学んだことを自然の事物・現象や日常生活に当てはめようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察、実験を行う際、根拠のある予想や仮説を立て、結果の見通しをもたせる。 ・内容に応じて表や図、写真や動画を用い、観察、実験などの結果を整理させる。 ・小単元や単元に振り返りの時間を設け、日常生活の場面を視点に入れた記述や発表をさせる。
生活科	<p>①身近な人々や環境、自然に関心をもち、分かったことや気付いたことを工夫して表現し伝えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の変化に気付いたり成長の様子を比べたりすること。 ・分かったことなどを適切な表現方法を用いて説明したり、感情移入して考えたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の興味関心に応じた、身近にある環境を生かした学習を進める。 ・見付けたことや気付いたことをこれまでと比較しながら絵や文章で表現できるよう、ワークシートを工夫したり、個人でまとめる時間と全体でまとめる時間を分けて設定したりする。
音楽	<p>①表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を活用して、表現の工夫を思考したり、考えを広げたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現を聴き合ったり、ICTを活用して考えを交流したりする活動を通して、友達の感じ方や考え方から自分の考えを広げられるようにする。

令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
図工	①主体的に造形活動に取り組む、形や色などの造形的な特徴を理解するとともに、材料や用具を活用し、工夫してつくり、自分の見方や感じ方を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・前学年までに学んだ材料用具の経験を生かして、自分の表したいものを最後まで工夫して表すこと。 ・話をしっかりと聞いて理解し、材料や用具を安全に使うこと。 ・集中して活動に取り組むことにより、自分の見方や感じ方を深めること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の表したいイメージを実現できるように机間指導しながら実技的なアドバイスや声掛けをして、最後まで工夫しようという意欲を高めていく。 ・つくったり、つくりかえたりすることで学びを深め、試行錯誤できる題材を設定する。 ・集中して活動に取り組むことが難しい児童には、個別に助言や支援し、最後まで集中して作品に取り組めるようにする。 ・材料や用具の安全な使い方を徹底するため、教科書や教科書二次元コードの動画を活用する。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
家庭	①生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中から問題を見出し、課題を解決しようとしたり、学習で学んだ知識や技能を実生活で生かそうとしたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・習ったことを家庭でも実践するようにする。 ・整理整頓や掃除の場面において、学習したことを生かしたり実践したりしようという視点をもたせるようにする。

令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
体育	<p>①その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。</p> <p>②運動や健康についての自己の課題を見つけ、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p> <p>③運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール投げ、立ち幅跳びなど、瞬発力が必要な技能を身に付けること。 ・基本的な動きや技能を身に付け、運動の特性に応じて、身に付けた動きや技能を生かそうとすること。 ・運動や健康についての自己の課題を見つけること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スモールステップで学習を進められるようにルールや学習の場を設定し、自然と技能が身に付くとともに、運動に興味をもたせる指導計画を立てる。 ・ペアやグループで取り組むことにより、共に学ぶことができる場を設定する。 ・タブレットを用いて動画を撮影し、自分の動きを客観的に振り返ることができるようにする。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国際	<p>①基本的な単語や英文の意味を理解し、聞いた話したりすることができる。</p> <p>②英語を用いて、自信をもって友達とコミュニケーションを図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な単語や英文の意味を理解すること。 ・自信をもって英語でのコミュニケーションをすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フラッシュカードやチャンツを通して基本的な単語や例文を何度も話すことで、理解を深める。 ・ペア活動やグループ活動を通して、短い単語や文から言ったり、できたことを認めたりすることで、自信をもたせる。

令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
道徳	<p>①よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な、判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人間理解や他者理解などの価値理解を十分にすること。 ・道徳的な判断力だけでなく、心情や実践意欲を育てること。 ・価値に対して、自分事として考えたり、自らの生き方を振り返ったりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協働的な学びを有効に活用し、他者の価値への捉え方に多く触れさせ、価値を多面的・多角的に捉えられるようにする。 ・心で思っているだけでなく、実践に繋がられるよう、自己の生き方について深く考えさせる。また、日々の学校生活での児童の様子を積極的に評価する。 ・教材理解をした上で、自己の生き方について十分振り返られるよう、発問と時間配分を工夫する。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
特別活動	<p>①よりよい学級・学校づくりなど、集団や社会に参画する力及び諸問題を解決しようとする力を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人間関係を形成するにあたり、自分の思いを伝えることや、相手の思いを想像すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会などの話し合いを通して様々な意見に触れ、自己の考えを広げたり、課題について多面的・多角的に考えたりして、自分の言葉で思いを表現できるようにする。 ・様々な関わりを通して感性を豊かにし、よりよい合意形成や意思決定ができるような資質・能力を育成していく。

令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
総合的な学習の時間	<p>①身近な環境や環境問題から、課題を見付け、情報を集め、整理・分析して、まとめ表現することができるようにする。</p> <p>②探究的な学習に主体的・共同的に取り組み、互いのよさを生かしながら、積極的に参加する態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい情報を収集したり、集めた情報の整理・分析をした りすること。 ・話し合い場面において、自己中心的な言動をせず、合意形成したり話をまとめたりしていくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような発表にしたいのかゴールイメージをもたせ、それに合った情報の収集の仕方や思考ツールなどを活用して情報を視覚的に整理・分析できるようにさせる。 ・道徳や学級活動など他教科の関連も意識し、話し合い活動の場を増やす。発言が少ない児童も発言できるよう、聞き手も前向きな発言ができるような環境づくりをする。